

令和7年9月30日

総務大臣 殿

広島県三原市宮沖五丁目8番15号
株式会社FMみはら
代表取締役 後藤和之

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第8条第1項第3号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

- ・ 番組審議会議事録（第41回、令和7年9月25日開催）

《別紙》

1. 開催年月日 令和7年9月25日

2. 開催場所 三原駅前スペースキオラスクエア内サテラス

3. 委員出席

委員総数	6名
出席委員数	3名

4. 議題

- ・局からの近況報告
- ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの報告

番組改編について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局 「2025年10月の番組変更はない。新しい番組を制作するよりも営業活動に注力する時期と判断した。」

10月より新しいサービスを始める。それは、番組放送後のアーカイブ放送対応である。現在FMみはらはインターネットサイマル放送を実施。市外の方へも放送が聞けるサービスをしているが、聞き逃してしまった方向けのサービスはしていなかった。『note』アカウントを作り、そこにアーカイブ音声をアップしていく。」

事務局2 「ホームページからアーカイブ放送を聴くことが出来る。ホームページの過去放送分をクリックすると、番組名が掲示される。そして、番組名をクリックするとアーカイブ放送を聴くことが出来る。まずは、『サンセットレディオ』内のゲスト出演がメインのコーナー『サンセットトーク』をアップしていく、徐々に他番組のアーカイブ対応をしていく。」

noteを使った理由は2つある。1つ目は、音声データ（MP3）を使用できる為である。例えばYouTubeは、音声データ（MP3）を動画データ（MP4）変換しなければならない。その為、作業に時間がかかる。2つ目は、アーカイブ音声の有料販売が可能なためである。今後、検討していく。」

事務局 「『みはらサンセットレディオ』は、ニュース、天気予報、交通情報そして、音楽がメインの番組である。その為、ゲスト出演があるインタビューコーナー『サンセットトーク』部分を抜粋してアップしていく。」

砂 田 「抜粋する作業は時間がかかるのではないか？」

事務局 「時間として、30分程度を予定している。音声の抜粋は比較的容易である。」

砂 田 「仕事量が増えただけとならないように注意してほしい。少しずつ徐々にやっていければよい。業務に追われると、良いものが提供できなくなる。」

第一号議案「番組審議」

番組名：萌々と辰悟の広島スポーツ放送部

出演：室井萌々、中野辰悟

事務局 「『萌々と辰悟の広島スポーツ放送部』この番組は《水曜日の3時のこと》シリーズ、毎月第3週目に放送をしている。スポーツ情報番組である。パーソナリティの室井萌々は、三原市出身で三原高校を卒業している。現在、大学4年生である。FMみはらの番組内で、広島県や三原市のスポーツ情報に特化した番組がこれまでなかった為、この番組をスタートした。」

事務局2 「室井萌々はアクターズスクール出身であり、サンフレッヂ関係の仕事を行ってきた。また、彼女自身も熱心なサンフレッヂサポーターであり、多くの情報を持っている。このような背景から、サンフレッヂ情報の発信をメインで行う番組作りを行っている。」

山 森 「室井萌々さんの声が聴きやすかった。」

砂 田 「中野辰悟さんの広島弁が気になった。個人的な意見だが、違和感があった。感じ方は人それぞれだと思うが、求めてない方が多いのではないか。」

事務局2 「中野辰悟と室井萌々に共有して、より良い掛け合いをしていく。」

座 長 「中野辰悟は本職ではないのか？」

事務局 「本職ではない。パーソナリティ募集した時に応募があり採用した。」

砂 田 「色々な経験しながら、上達していければ良いのではないか。」

事務局 「男性パーソナリティは非常に貴重である。相談しながら改善しつつ、長く携わっていきたい。また、放送開始して4回目まで終了したが、段々と室井萌々ファンが観覧に来るようになった。」

座 長 「サテラスから放送はしないのか。」

事務局 「スタジオ前の方が使いやすい為、こちらで現在は行っている。」

第二号議案「ご要望について」

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・必要にあわせて今後の審議会の中で対応したことについて発表する。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法：事務所への備置き ホームページでの公開

公表の内容：議題、議事の概要および審議内容

公表年月日：令和7年9月30日

9 その他参考事項